

受入団体名：日東電工株式会社滋賀事業所

プロジェクト/団体プログラム名：地域環境実践ラーニングプロジェクト
— 生物多様性保全活動を通じた実践型プログラム—

募集人数

5名程度

<活動期間：2026年10月13日～2026年12月中旬 活動日数：6日程度>

<活動日or 活動パターン>

隔週1日程度・定例

<活動の流れ>

日時	活動内容
10月13日(火) 16:40～18:15	テーマ伝達・オリエンテーション・事前学習①
10月27日(火) 16:40～18:15	事前学習②・グループ分け&課題設定
11月10日(火) 16:40～18:15	イベント活動準備①
11月14日(土) 未定	びわ博フェス参加@琵琶湖博物館
11月24日(火) 16:40～18:15	イベント活動準備②
12月中旬 9:00～16:00	生物多様性保全実践活動・振り返り
11月中旬～12月	要望しだい別イベントにも実践参加

<主な活動場所>

大学構内

イベント実施場所

<キャンパスからの交通手段>

未定

<活動に必要な費用>

交通費のみ

<参加の姿勢>

生物多様性保全活動に関心を持ち、主体的に参加できる方を歓迎します。

<コミュニケーションの手段>

電子メール

LINE

電話

その他()

<活動のテーマと主な内容>

生物多様性保全への理解を深めるために、地域と連携した環境保全活動を実践する

学生たちが共に取り組む活動について、経緯や経過、また共に活動させていただく方々など、現場での動きが想像できるよう、お示してください。必要に応じて、写真などもお使いください。

日東電工株式会社滋賀事業所では、環境マテリアリティとして生物多様性保全を掲げ、地域の環境保全活動やイベントへの参画を推進しています。

本プログラムでは、これらの実践活動に学生が参加し、現場での体験を通じて地域環境や社会課題を理解するとともに、企業の役割について考察していただきます。さらに、活動を通じて得られた気づきをもとに、環境・地域・社会の関係性について主体的に整理し、自らの視点で捉える力を養うことを目的とします。

<活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

現場の特徴、学生に求める活動時や授業終了時をお示してください

環境・社会課題は複雑化しており、企業単独ではなく地域や多様な主体との連携が求められています。本プログラムでは、企業の活動に学生が参加し、多様な視点による気づきを得ながら協働して取り組むことを目的としています。現地活動では、安全に配慮しながら主体的に参加し、観察・対話・振り返りを通じて学びを深めることが求められます。
※当社は「活動機会の提供・運営・安全管理・学習支援」を担いますが、学生の自由な視点を尊重します

<学生が期待できる学び>

～ができるようになる、といった表現でおまとめください。

- ・地域環境や生物多様性の課題について、現場での実践を通じて体験的に理解できるようになる。
- ・企業や地域の関わりを理解し、環境課題を主体的に捉えられるようになる。
- ・活動を通じて、自らの役割や行動の意味を整理し、気づきを自分の言葉で言語化できるようになる。

<活動紹介>

これまでの活動現場での取り組みなど、プロジェクトや団体プログラムについて理解が深まる情報を、写真や注釈などを含めて、ご記入ください。
この部分にお示しいただいた内容を、そのまま受講ガイドに掲載いたします。
別途作成される際はMicrosoft PowerPointのファイルを送信願います。
印刷は白黒でいたしますが、ウェブでのPDF配布版はカラーで提供します。

年度	2026								
月	10		11			12			
ワークショップ予定	第1回 背景理解と 全体像のインプット		第2回 観察・分析の 視点を持つ	第3回 活動の目的と 役割を設計する	第4回 14日 びわ博フェス		第5回 考えたことを 行動できる形にする	第6回 実践と振り返り による学びの定着	
Nitto参加 イベント	3日 環境フェスタ				14日 びわ博フェス		未定 湿地づくり	未定 ヨシ刈り	

<活動写真(2025)>

イベント	びわ博フェス	BBN* 生物多様性保全活動	ヨシ刈り活動
場所	琵琶湖博物館	希望ヶ丘文化公園	西の湖周辺
内容	廃棄物で琵琶湖の生き物をモチーフにしたアートづくりを提供	ハッチョウトンボ保全のための湿地づくり	地域環境保全のためヨシ刈りイベントに参加
写真			

* BBN(生物多様性びわ湖ネットワーク)：「滋賀県の生物多様性を守るため、県内企業が協業して活動する連携組織」